

ひかり

2018年7月号



日本聖公会 三光教会

第 668 号

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

St. Mark

イエスは、人々の聞く力に応じて、このように多くのたとえで御言葉を語られた。

(マルコによる福音書 4 : 33)

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

主教職を共に考える

司祭 グレース 神崎 和子

今年は冬が短く、夏がすぐやって来ました。三光教会事務棟の横にあるぶどう棚のぶどうの実も大きく育っています。夏が足早でやって来ました。

そして9月1日には日本聖公会東京教区第132(臨時)教区会がひらかれます。この総会では主教選挙が行なわれます。

私たちは主教について時には遠い存在に思うこともあり、反対に身近に感じられることもあります。なぜなら年に一度、主教巡回日には、教会でお会いします。また教区の様々な行事でもお会いします。ですから決して遠い存在ではないのです。9月に行なわれる主教選挙の前に、主教職について少し考えてみたいと思います。

先ず確認しておかなければならないことは、初代教会では、教会がキリストによる神の民として、その職務を遂行するために、特定の人々を選んで「職位」につけた

のです。それは人間社会の必要から、つまり「下から」設けられたものでなく、神によつて「上から」立てられたものです。これを「奉仕職」と呼ばれています。

この「奉仕職」の中で主教の職務について考えてみたいと思います。初代教会より歴史的にみて、主教の職務には次のような役割が与えられています。それはイエス・キリストの福音を宣べ伝えること、洗礼及びユーカーリストを主催すること、また会衆の信仰生活のための牧会上、規律上の配慮を行なうこと、地方教会の交わりを育成するための集団指導、統括を行なうことです。

そして地方教会に対しては全公会の、また全公会に対しては地方教会の一致を自らの人格において、主教座を通して表すことです。最後に聖職按手によって未来の教会を伝達することもその役割です。主教のこれらの役割を今一度思い起こしながら、祈りと共に東京教区に新たに私たちの主教が与えられることを祈っていききたいと思えます。

7月～8月の予定

- ◆7月
- 22日(日) 聖霊降臨後第9主日
- 23日(月) マグダラの聖マリヤ日
- 24日(火) 聖書に学ぶ会(旧約)
- 25日(水) 使徒聖ヤコブ日
- 26日(木) おとめ聖マリヤの母アンナ
- 29日(日) 聖霊降臨後第10主日

- ◆8月
- 5日(日) 聖霊降臨後第11主日
- 6日(月) 主イエス変容の日
- 7日(火) 聖書に学ぶ会(新約)
- 8日(水) 8月逝去者記念礼拝(聖餐式)
- 9日(木) 司祭修道士ドミニコ
- 10日(金) 殉教者執事ローレンス
- 11日(土) 修院長おとめクララ
- 12日(日) 聖霊降臨後第12主日
- 14日(火) 聖書に学ぶ会(旧約)
- 15日(水) 主の母聖マリヤ日
- 17日(金) 聖書に学ぶ会(旧約)
- 18日(土) ヘレナ
- 19日(日) 聖霊降臨後第13主日
- 20日(月) 修院長教会博士ベルナルド
- 21日(火) 聖書に学ぶ会(新約)
- 24日(金) 使徒聖バルトロマイ日
- 26日(日) 聖霊降臨後第14主日
- 28日(火) 主教教会博士オーガスチン
- 聖書に学ぶ会(旧約)

□ 社会委員会・学びのひととき
「アジア学院」を知る

5月20日聖霊降臨日の礼拝の後、司祭様のお祈りをもって、「学び」のひとときを持ちました。「アジア農村指導者育成専門学校」として那須にある「アジア学院」より、菊池あゆみさんをお迎えしてお話を伺いました。

学院は、45年前、先の戦争で日本がアジア各地に与えた苦しみを少しでも償うという意味もあって、キリスト教の精神のもとに設立されました。「共に生きる」事と「共に学ぶ」事を第一に、アジアを中心に世界各地から学生を募り、農業の「仕える指導者(サーバント・リーダーシップ)」の育成と農民に希望を届けるという大きな目標をかかげ、多くの支援に支えられ活動しております。今までに千三百人以上の卒業生が世界各地で活躍し、現在は30人近くの学生が那須で共同生活を送っています。その様子を沢山のスライドを通して解説していただきました。

長年の活動の間には、世の中の変化と共に学院も色々なご苦労があったと思います。また東日本大震災では学院自体が大きな被害を受け、また放射能の問題もあつた事、皆様の様子はさぞかしと胸にしみました。私達としても今後ともわずかな力でも寄せ合つて、学院への支援が出来ればと思います。そして学院製の美味しい品々を皆さんが楽しみにされていたようで、すぐに完売しました。

お忙しいなか、講演に来てくださった菊池さんにより感謝いたします。(記・萩原多美子)

男子会だより (6月)

6月の例会で決まった事項をお伝えいたします。

7月15日(日)例会日は、ティールームの加藤由喜子さんから、長谷川正昭司祭をお呼びしてお話をして頂く会を催すとの事で、男子会もそれに参加し、その後には例会を行うこととします。

次に、チャリティBBQを7月29日(日)に開催します。毎回金石石支援センター「望」に支援を送っています。七年を過ぎてもなおお求

められる働きはありながら、その支援は先細りの状態と聞きます。是非とも一助になればと願っています。

最後に、秋の研修旅行を計画中です。今回は埼玉の小江戸、川越にスポットを当て、小江戸のぶらり旅とシヤレテみようと考えています。古い町並みと風情溢れる店先を、美味しい食事に昔懐かしい駄菓子、最後は街並みにマッチしたレンガ作りの聖公会川越基督教会の訪問を考えています。

数度の下見を経てから11月に開催予定としていきます。9月には内容を決定してご案内ができるものと考えています。是非ともお楽しみに。(記 頼仰史)

* *
「再訂正」高柳聖職候補生の香蘭女学校勤務日は、正しくは「木曜日の午後と金曜日の午前」です。

社会委員会が集めています。

左記の品物を集めています。皆様ご協力をお願いいたします。

▽未使用のテレフォンカード

アジア・アフリカ等の貧しい村から有機農法を学ぶために若者が集まるアジア学院の運営資金として活用されます。

▽旅館・ホテルの使い捨て歯ブラシ歯磨き・石鹸・タオル

山谷のおじさん達に使ってもらいます。

▽古シーツ・古タオル

秋津療育園や深川愛の園、きぼうの家で活用しています。

三光教会

マーマレード物語

☆ ☆

今から20年前、大辻直樹君という心の病を負った一人の青年が礼拝に参加していました。彼は青年達と交わりをもち、全国青年大会にも参加したことがありました。そして『教会の人達はすごいんだヨ、僕と普通に話してくれるんだ』とご家族に話されていたそうです。1999年12月に急

逝された彼のご家族から「直樹が貯金していたものです。大好きだった三光教会の為に」と献金がありました。

当時の牧師小笠原忍司祭と相談し、実の成る懐かしい夏みかんの木を旧牧師館の前に植えました。彼を記念し、私たちの心の内に憶え続けましょうとの思いからです。

みかんの木は元気に育ち、たわわに実を付け始めました。

2001年2月、このままではもつたないとマーマレード作りが始まりました。収益は精神障がい者の支援のために使う事と決め、現在に至っています。

礼拝堂改築に伴い、2009年に今の場所に移植された木は数年の試練の時を経て、一昨年頃からようやく元気を取り戻しました。たくさんの人々の暖かい見守りのうちに今年も30個ほどの美しい実をつけてくれました。

心のこもった、ほろ苦く澄んだマーマレードを今年もお届けいたします。

2018年

三光教会 社会委員会

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2018年7月号 (第668号)

発行者：司祭 神崎和子 編集・印刷：三光教会広報委員会